

2024年総合大会 企画セッション

社会インフラをささえる情報通信エンジニアリングを目指して
【今を守り未来を拓く、情報通信エンジニアリング。
能登半島地震の通信インフラの復旧に迫る～】

デジタル化が進む現代の生活と経済において通信サービスは必要不可欠です。本セッションでは、私たちが普段存在を意識せず利用している通信インフラの舞台裏について、情報通信エンジニアリングの第一人者が語ります。今回は特別に、能登半島地震の通信インフラ復旧についても貴重なお話を伺える機会です。

日時 2024年3月6日(水)
9時00分～12時15分

場所 広島大学(東広島キャンパス)
工学部 220 教室

座長 森川博之(電子情報通信学会会長)
岡宗一(電子情報通信学会総務理事)

コーディネーター 大山りか(ON BOARD 代表取締役)



講演題目 ネットワークインフラ分野の政策動向

講演者 五十嵐 大和 総務省総合通信基盤局電気通信技術システム課長

概要

毎日の暮らしや経済活動に欠かすことのできないインフラとなった各種通信サービス。それを支える技術基準が、新技術の登場でどのように改正されてきたのか解説します。また、こうしたインフラを支える技術者の資格制度も紹介します。



講演題目 モバイル通信を支える多様なネットワークエンジニアリング

講演者 前田 大輔 KDDI 株式会社 執行役員 技術統括本部 技術企画本部長

概要

携帯電話は4Gから5Gへと通信速度の高速化が進み、その進化は止まりません。その高速な無線通信を支えるのがバックホール回線です。本講演では、モバイル通信を支えるネットワークエンジニアリングについて説明いたします。



講演題目 DXを活用したNW構築について ～システム開発とAIへの挑戦～

講演者 小笠原 篤司 ソフトバンク株式会社 テクノロジーユニット統括 エリア建設本部 執行役員本部長

概要

次世代ネットワークの構築と安定稼働を実現させるために、モバイル業務の効率化・DX化が急務とされています。ソフトバンクでのDXの取り組みとその未来像、AIの活用事例を紹介し業界の発展に繋がっていきます。



講演題目 工法動画活用による施工品質向上を目指す取り組み

講演者 磯邊 直志 楽天モバイル株式会社 基地局設置統括本部 統括副本部長

概要

楽天モバイルは、国内最後発の携帯キャリアとして参入し、ゼロからの基地局開設が急務でした。短期間で約6万局を開設できた要因の1つに「工法動画」の活用があります。工事会社様等と知見を共有したことで、スピードアップや施工品質の向上にも役立ちました。



講演題目 情報通信基盤を支える安心・安全・災害対策の取り組み

講演者 石田 信吾 日本電信電話株式会社 技術企画部門 イノベーション戦略担当 統括部長

概要

通信は人々の生活を支える重要インフラであり、社会変化に伴いその重要性はますます高まっています。一方、自然災害の頻発・激甚化により通信設備が被災することも多くなっています。被災時における重要通信の確保および早期復旧の取り組みとともに、これらに従事する社員の安全を守る取り組みも併せてご紹介いたします。